

ドーピング まめちしき!

Vol.6

嶋元医院 院長 嶋元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

どんな検査を受けるの？(その1)

実際にドーピング検査を受けたことがある選手は少ないと思います。今回は実際の検査の様子をお話します。

ドーピング検査には、**競技会検査**と**競技会外検査**(抜き打ち検査)の2つの種類があります。検査の流れはほぼ同じですので、競技会検査について説明します。

まず、どの選手がドーピング検査の対象になるかは選手側では全くわかりません。主に入賞者が検査対象になることが多いですが、全ての選手が対象と考えてください。検査対象に選ばれた場合、競技後にドーピング検査員(以下DCO)が選手の元にやってきます。その場合 DCO の身分証明書、各種書類を提示されます。各種書類をよく確認してください。また選手自身の顔写真付の身分証明書を求められますので、競技会や競技外でも身分証明書は必ず携帯しておいてください。学生なら写真付きの学生証となります。それ以外には運転免許証やパスポートなど写真が入った公的な証明書であればかまいません。(健康保険証などはダメです)

対象選手として通告された後は、DCO が必ず選手の行動に同伴しますので、できるだけ速やかにドーピング検査室へ行くようにしてください。他の種目など競技を続ける場合は DCO に申し出てください。着替えなどが必要な場合も DCO が付き添います。同性の DCO が必ず付き添いますので安心してください。飲食はできますが、選手自身の責任で飲食することになります。(ドーピング検査室や競技会外検査では DCO がドーピング検査に対して安全な飲み物を提供しますので必要であればそれを飲んでかまいません。)また、選手側はコーチやトレーナー等の成人の同伴者を1名と、必要に応じて通訳を検査室へ連れて行くことができます。未成年の場合は必ず成人の同伴者が必要です。成人の場合は必ずしも同伴は必要ありませんが、公平な検査を証明するために、できるだけコーチなどのスタッフや同僚の選手などが同伴できるよう事前に打ち合わせておいてください。

今回は、検体検査の方法を説明します。

※1：ドーピングコントロール・オフィサー(DCO=Doping Control Officer)